学校番号	１１２

令和８年度　国語科

教科	国語科	科目	国語演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	「新国語問題集アシスト現代文編」（啓隆社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・私大入試に必要なマーク式の問題を中心に解く力を身につけます。
・授業には、話し合い、発表する場もありますが、自ら学ぶ姿勢をもって参加してください。
・授業の後には内容を振り返って復習しましょう。
・課題・提出物は期限内に提出しましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・必要な語彙力を身につけ、読解力へと結びつける。
【思考力、判断力、表現力等】
・論理的思考力を伸ばすとともに、読解力を身につける。
【学びに向かう力、人間性等】
・集中して問題に取り組み、他者との意見交換を積極的に行う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・言葉の意味やきまりなどについて理解を深め、知識を身につけている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 ・文章の種類に応じて、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。	・文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりする。 ・論理的に文章を読み、正解へたどりつく力をつけている。 ・他者との意見交換をし、よりよい答えへ導いている。	・国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。 ・集中して問題に取り組んでいる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	論評 ［教材］「アリストテレスの哲学」他	a:・文章の種類にもとづく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開のしかたについて理解を深めている。 b[　読　]:文章の構成や論理の展開、表現のしかたについて，書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 c:・本文と図版を関係づけて読むことをとおして、段落相互の関係に注意しながら、書き手の意図との関係において構成や展開を積極的にとらえ、今後の学習に生かそうとしている。	ワークブック 定期考査	ワークブック 定期考査	ワークブック 小テスト
二学期	小説 ［教材］「これが『教養』だ」他	a:・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[　読　]:語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 c:・文学作品の描写や会話、特徴のある表現に興味をもち、登場人物の人間関係や心理を読み取ろうとしている。	ワークブック 定期考査	ワークブック 定期考査	ワークブック 小テスト
三学期	論評 ［教材］「ワンダーランドに卒業はない」他 ［教材］	a:・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。言葉の意味内容をあらためて考え、認識や思考と言葉との関係を理解している。 b[　読　]:文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。 c:・学習課題に沿って、具体的なエピソードに注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。	ワークブック 定期考査	ワークブック 定期考査	ワークブック 小テスト

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　　）時間

・読むこと　…　（　７０　）時間